

九州大学経営協議会議事録

日時：平成27年10月22日(木) 13:00～15:00

場所：九州大学 椎木講堂大会議室

出席者：29名中22名出席

【紹介】

経営協議会委員（役職の変更）及び本学の役員等（理事の任務追加及び副理事の就任）について紹介があった。

【審議事項等】

1 九州大学アクションプラン2015について

6月の本会議において報告した九州大学アクションプラン2015について、パンフレットとして発行した旨の説明があった。

2 平成27年度人事院勧告の概要及び役職員の給与の支給基準の検討について

平成27年人事院勧告の概要及びそれを踏まえた本学における役職員の給与の支給基準（案）について説明があり、審議の結果、当該案を基本に、国の動向を踏まえ検討を進めることを議決した。

なお、以下のような質疑応答があった。

- ・最近の報道等によると、秋の臨時国会は開催されず、公務員の給与法改正の審議は年明け以降になると見込まれるが、その場合でも12月に実施するのか。

国の動向を踏まえて進めることとしているので、実施時期は、給与法改正の国会審議が終了した後となる。

3 借入先金融機関の決定について

文系及び国際化拠点図書館施設等移転整備資金の借入先金融機関が決定したことについて報告があった。

4 平成28年度概算要求について

文部科学省から財務省へ提出された平成28年度概算要求の概要及び本学に係る概算要求について報告があった。

なお、以下のような質疑応答等があった。

- ・資料11ページの機能強化経費のうち極限プラズマ研究連携センターの分は文科省から財務省への要求がゼロと査定されているが、これはどのような影響によるものか。

この分野については、個別の大学としてではなく国の方で戦略的に推進するビッグプロジェクトとして別に位置づけられている。本学としても概算要求として出したが、文科省の中で具体的にどのような議論がなされたのかは分からないが、結果として、本学からの個別の要求の査定としてはゼロとなったものである。

- ・システムが変わってよく分からないが、これまで運営費交付金が毎年1パーセント減額されていたが、それがなくなったということか。

これまでは「大学改革促進係数」という名称で毎年一律に減額されてきたが、これからは、3つの重点支援の枠ごとに、各大学の機能強化の方向性及びそのプランの善

し悪しによって、国から「機能強化促進係数」として設定されることとなる。これは、予算編成過程で決定されるということでもまだ分かっていない。

- ・全体のパイは下げられて、それを仲間内で戦って取り合うということか。自助努力がより重要になってくるということだと思ふ。

大学としては非常に厳しい状況となっている。一層の機能強化に向けた取組を進めながら、企業等との共同研究や、科研費等の競争的資金の獲得、多くの寄附金の獲得、病院の経営努力等、様々な自助努力を行っていく必要がある。

- ・資料16ページの施設関係の事業評価は誰が評価しているのか。86大学全てについて同じところが評価しているのか。

文部科学省に置かれている外部委員も入った施設整備に関する検討会が全ての大学について評価を行っている。

- ・九州大学は重点支援を選んでいるとのことだが、その場合に、の分類にある地域に貢献する取組といったことについてはどうするのか。

九州大学はに入っているが、もちろん地域連携も重視しており、これからも積極的に取り組んでいく。主としての取組が中心となるが、もちろんやの要素についてももしっかり取り組んでいく。

- ・人社系が海外に比べて弱いと思うが、九州大学としては、今後人社系をどのようにしていこうと考えているか。

本学の人社系のあり方について、総長の諮問機関としてWGを設置して検討しているところである。本学は研究院制度や5年目評価10年以内組織見直し制度、九州芸術工科大学との統合など様々な動きの中で組織改革を進めてきている。人社系についても、すべての部局からヒアリングを行い、九大の強いところ、例えば複数のキャンパスに分散している心理学分野を一つの方向にまとめられないかなど検討を進めている。本学としてはアクションプランに沿って組織改革等に取り組み、九大の強みにしていきたい。

5 財務レポート2015について

「財務レポート2015」を作成したことについて報告があった。

【その他】

1 審議事項等の終了後に以下のような意見交換があった。

- ・財政事情が厳しい中、大学にはグローバル化の中で生き残ることが求められている。大学同士の競争の中で本気度が試されている時であり、重点支援の16大学を牽引していく大学として知恵を絞って九州大学としての特色を出していただきたい。アクションプランは素晴らしいと思うので、九大として発信力を強めてアピールして欲しい。

九州大学としての強み・特色を出して、中央にも届くよう発信力を強めていきたい。

- ・アクションプラン及びロードマップは、第3期中期目標の期間「充実・発展」という記載が多いが、具体的な中身はないのか。

具体的には、第3期中期計画と毎年の年度計画を作成することとなっており、現在28年度計画を作成しているところである。それらの内容は次回以降のこの会議に諮ることになる。

- ・発信という観点では、九大関係の記事は地元紙には載っていても全国紙にはあまり載っていない。ニュースの学術的価値を伝える科学技術分野の記者の部門が地方にはないの

で、前回も言ったが、これぞという発表は中央で行うとよいと思う。

- ・九大の広報では、広報誌や SNS など、どういったことにどのように取り組んでいるのか、整理してこの場に出していただいてはどうか。

メディアとの関係では、毎月定例の記者会見を行い毎回 10 社程度に来ていただいている。そのほかに研究成果説明会やプレスリリースを行っている。テーマの大きさによっては福岡だけではなく東京での会見も試みつつあり、中央での発信にも取り組んでいきたい。

印刷物については、ガイドラインを作りレベルは向上してきている。現在 Web の見直しを行っているところである。

広報の取組については、整理した上で次回改めて説明させていただきたい。

- 2 次回の経営協議会は平成 28 年 1 月 21 日（木）に開催予定である旨の案内があった。

【懇談】

会議後、本学の研究活動の紹介として「味覚センサ」について説明があった後、当該説明内容等に基づいて懇談を行った。

（ 以 上 ）